

令和5年度 大牟田市教育委員会3月定例会会議録

1. 日 時

令和6年3月22日（金）

開会16時00分 閉会17時25分

2. 場 所

大牟田市庁舎4階教育長室

3. 出席者

教育長：谷本 理佐

委 員：嶋田 桂子、山本 和夫、東 秀樹、木場 真帆

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

事務局長 桑原 正彦、教育監 平河 良、事務局次長 伊藤 英彦、総務課主査 蓮尾 修、教育みらい創造室長 松葉 茂、学校教育課長 小宮 武士、指導室長 杉野 浩二、学務課長 黒田 昌幸、同課給食担当課長 木下 久美子、同課主査 山田 寿美子、生涯学習課長 徳川 昭彦、同課主査 浦川 一浩

6. 傍聴人数

0人

7. 開会の宣告等

16時00分、教育長が開会を宣告し、本日の議題について非公開の発議の有無の確認を行った。事務局長から、議案第22号及び同第23号は人事に関する事項であるため、いずれも非公開が相当と考えられる旨の報告がなされた。これを受けて、教育長から、議案第22号及び同第23号を非公開とすることの発議がなされた。採決の結果、全員一致で非公開とすることと決定した。

(報告事項)

1 令和5年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について【学務課】

教育長 令和5年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について説明をお願いします。

給食担当課長 令和5年度学校給食週間学校給食アンケート調査結果報告について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 2月にみやま市で発生した給食中の窒息による死亡事故を踏まえた本市の対策
- ・ 学校給食週間の取組として行った学校給食アンケート調査結果とその考察

教育長 まず、みやま市での事故を踏まえた対策について、何かご質問・ご意見等はありませんか。

委員 みやま市での事故の後、市内の保護者から事務局に問合せ等がありましたか。

給食担当課長 給食担当には問合せはありませんでした。

指導室長 指導室にも問合せはありませんでした。

委員 分かりました。

委員 資料中の「窒息の原因となりやすいもの」の中にこんにやくゼリーがありませんが、いかがですか。

委員 過去、こんにやくゼリーが原因の事故が多発したことがあります。喉に詰まらせると、苦しいので息を吸い込もうとしますが、そうすると、声帯が開いて、詰まらせたものが奥にするりと入り込んでしまいます。声帯を通り過ぎてしまうと、気管の方にはまり込んでしまうので、高度な医療機関で処置しなければ、救命はまず困難です。息ができないとか話すことができない状態だと、もうかなり厳しい状況です。今回はいろいろと処置をしたようですが、救命できなかったのは、そのような状況になったためだと思われます。

うずらの卵のような、丸くて気道を塞ぐような大きさのものは、特に気を付けなければなりません。それだけではなく、パンなども、口一杯に頬張ったりして、唾液を吸い込んで膨張すると、それが気管を塞いで窒息する恐れもあるので、気を付けなければなりません。

委員 そのような場合、近隣の病院で処置することはできますか。

委員 気管支鏡を使用する必要があるので難しいかもしれません。

気管支に入り込んで、せき込むことができれば、嘔吐する拍子に気管内の異物が出てくることもありますので、ハイムリッヒ法などの処置で救命できる可能性はあります。しかし、すっぽりとはまり込んでしまうと、せき込むこともできなくなりますので、救命は難しくなります。

担任の先生は、4月か5月に救急救命講習を受けていたということだったので、そのことはよかったと思います。今回は、結果として救命できなかったし、救命自体が非常に難しいのですが、もし講習を実施していなかったとしたら、そのことで学校の責任を追及されることになったのではないかと思います。年に1回でも、実技を含めた講習を実施し、全ての先生方に受講していただきたいと思います。

救命率は、1分経過するごとに8から9%低下します。事故はいつ起きるか分かりませんし、講習を実施するのとしらないのでは、責任の問われ方が異なってきます。

昨年、太宰府の高校生が、野球のボールが胸に当たり、救命できなかった事故がありました。ドッジボールやサッカーボールも胸に当たる可能性があります。私としては、なぜ救命できなかったのか、疑問が残ります。いつでも起こり得ることとして備えておく必要があります。未来ある子供たちが命を落とすようなことがないようにしなければなりません。学校訪問の際にもそのようなことをお話ししています。

1年ほど前のNHKの特集番組で、学校での死亡事故が年間に60～70件ほど起きているが、全ての報告がなされているわけではないということでした。これも学校訪問の際に言ったのですが、同じような事故が繰り返し起きていて、全く新しいタイプの事故はほとんどありません。うずらの卵による事故も、平成27年に大阪で起きています。(同じような大きさである) ミニトマトは調理の際にカットするとか、うずらの卵は調理の際にカットすることは難しいので、食べる前に子どもたちが自分でカットするとか、一気に口に入れないなどを先生が指導することはできるはずですが、そうでないと、同じような事故が何度でも繰り返されることになります。

給食に関しては、よくかんで、集中して食べることで、事故は予防できます。また、予防するためには、慌てて食べないでよいように、給食の時間をしっかりとる必要があります。今回の学校給食アンケートの結果でも、約30%の小学生が、給食を残す理由として、「給食時間が短いから」と回答しています。

今までに起きた事故を教訓として、予防と、いざ起きたときの対策を講じる必要があります。

教育長 今回のみやま市での事故を受けて、全ての市立学校が、即座に全職員に共有し、児童生徒への指導を行っていました。

委員 委員がおっしゃるように、予防と対策を毎年繰り返して講じる必要があるように思います。

委員 管理職の方は、過去に起きた事故を念頭に置いていただき、職員に伝えて、対策を講じていただきたいと思います。

教育長 では、次に、学校給食アンケート調査結果について、何かご質問・ご意見等はありませんか。

委員 2点お尋ねします。1点目は、資料8ページ右下の四角囲みの中に、「家庭科の授業の事後指導を家庭と連携して行っている」とありますが、どのような連携をしていますか。2点目は、資料2ページの中学校のアンケートの問7「苦手な給食のメニューは何ですか」は、新規の設問ということですが、小学校の方にはこの設問がないのはなぜでしょうか。

給食担当課長 1点目につきましては、家庭科の授業が終わった後、学習した内容を家庭にお知らせしたり、家庭の方で工夫されている料理の内容等についてお知らせいただくなどを行ったことで、成果が出ていると聞いています。2点目につきましては、今回は、小学校では苦手なメニューについての設問はありません。アンケートは、毎年、小学校と中学校それぞれの栄養教諭の先生方と相談して設問を定めていますが、この設問は、中学校の先生方が、苦手なメニューについてももう少し深めたいということとで設けられたものです。

委員 これは感想ですが、資料7ページの「問9 苦手なおかずをがんばって食べる理由は何ですか。」に対する回答として、「残したら調理員さん

に申しわけないから」や「残したらもったいないから」が上位にあり、感動すら覚えました。先生方、調理する人、また、ご家族が、このような心情を持つ子供さんを育てられたことが素晴らしいと感じました。

給食担当課長

小学校は自校方式ですので、作っている人に感謝の気持ちを抱くと思われれます。(中学校はセンター方式となるが、)そのため、中学生になっても、感謝の気持ちを持ち続けることにつながっているのではないかと思います。

委員

資料3ページは、R5(今回)とR4(参考)を棒グラフで比較していて、大半は、R5を上、R4を下に表示していますが、逆にあって、(小学校の間4・7)があるので、揃える方がよいと思います。また、資料7ページの中学校の「問10 朝食を毎日食べますか。」は、上から、全国(R5)、福岡県(R5)、大牟田市(R4)、大牟田市(R5)の順になっていますが、大牟田市のR5をR4の上に表示すべきだと思います。

次に質問ですが、中学校の設問において、給食を「残す」と「減らす」をそれぞれ分けて設定した(問4・問5)意図と、どのような違いを想定されていたのでしょうか。

給食担当課長

中学生は、体格差もありますので、つぎ分けられた量が自分には少し多いと思ったら、調整のため減らしに行きます。問5はそのことについての設問ですが、栄養教諭の先生方が、その状況について知りたいということ、また、今回は特に、食品ロスの関係等についても少し深く知りたいということで設定したものです。

委員

意図は分かりましたが、結果をどのように分析するかが非常に難しいように思いますが。

給食担当課長

半数の生徒は、「いつも減らさない」と答えています。問3では、給食で出されたものを「いつも全部食べる」と答えた割合が73.3%となっており、クロス集計を行って見ないとよく分からないと思いますので、今後分析したいと考えています。

委員

学校の教育方針としては、どちらを勧めているのでしょうか。つまり、なるべく頑張って食べたいけれど残してしまうということはよしとされるのか、それとも、全部食べるのが難しそうだったら、食品ロス等を考えて、最初から減らすのか、どちらでしょうか。

給食担当課長

特に中学生の場合は、体格差もかなりありますし、部活をしている・していない等もありますので、自分が食べきれないと思ったら量を調整することを優先しています。

委員

次に、毎回気になっているのが、アンケートの評価の仕方です。例えば、資料3ページの間4(給食を残す理由は何ですか)では、「給食時間が短いから」と「嫌いなものがあるから」が、令和5年度と4年度の差が、それぞれ8.5%と7.4%あります。また、問7(朝食を食べない理由は何ですか)では、「食べる時間がないから」が8.5%の差があり

ます。母集団の数は700を超えていて、それで8%、9%というのは非常に大きな差です。その原因は、給食時間が短くなったからとか、味つけや量が変わったからというようなことではないと思います。それはなぜかと言うと、アンケートという性格と、母集団が全数変わっていて、これだけの差が出てくる、それだけアバウトな集計だと思います。それで、例えば、令和5年度と4年度を比較して何ポイント減少し何ポイント増加した等ということが、どれだけの意味を持つのかということです。比較するのであれば、少なくとも3ポイントを比較しないと、傾向は見えてきません。ですので、何%減少した等ではなく、例えば、給食が好きだ等の項目について、3か年位の目標値を設定し、それを達成できているかどうか等の評価を行う方がよいように思います。

今回のような集計の結果は事実ではあるのですが、その意味するものについて、もう少し検討していただければと思います。

次に、クロス集計は非常にいい結果が出てきていると思います。特に5ページの、問2（給食の前におなかがすいていますか）と問6（毎日朝ごはんを食べていますか）のクロス集計の結果などです。これらは、ぜひ学校の現場の方に伝えていただきたいと思います。

最後に、9ページの間8（苦手なおかずが出たらどうしますか）と問14（一日の睡眠時間はどのくらいですか）のクロス集計ですが、「がんばって食べる」「減らして食べる」ということを睡眠時間と結びつけるのは非常に難しいと思います。確かに、少し差が出てきているので、それで挙げられたのかもしれませんが、何を分析するのかというねらいがあって、それをどう評価されているのかがあまり見えてこないと感じます。

給食担当課長

クロス集計をする場合は、いろいろなものをクロスさせて、効果がありそうなものをピックアップし、このような形でお示ししています。委員ご指摘のとおり、どのような効果があるのかということもあると思いますが、睡眠時間を十分とれている子は、給食の前にきちんとお腹がすいている。そのような子供たちは、生活習慣が身に付いている。あくまでも想像ですが、生活習慣、食習慣がきちんとしていて、苦手なものもあまりないということに結び付くのではないかとことも考える中で、このような結果が出ましたので載せたものです。

委員

結果が出たので載せたということですが、先ほど言ったように、あくまでアバウトな集計でもあり、そのような結果が出たから睡眠時間との関係があるのだというのは非常に難しいと思います。だから、何か理由、根拠があって、結び付けられればいいのですが、全く思いつかない。

頑張るって食べることが、即ち、いいことなのか、そうでもないのか。減らして食べる方がむしろいいのだというふうにも言われています。アンケートの取り方と、苦手なものとの睡眠時間との関係で、たまたま出たから結び付けたというふうにも感じます。

給食担当課長

今後は、仮説を立てて、効果があるかどうかを確認するようにします。

委員 苦手なものを残さず頑張って食べるお子さんと、その生活習慣がどのように結び付くのかということだと思います。

給食担当課長 そのようなところを注意しながら、クロス集計を行うようにします。

委員 給食も年々いろんなメニューができてきて、子供たちがすごく楽しみにしています。朝から、今日のメニューは何かな等と言っています。

でも、やはり、先ほど言われたように、生活環境の違い、家庭の違いで、塾に行ったり習い事をしていて、帰りが遅いと寝る時間も遅くなる、夜食を食べて寝たら朝ご飯が食べられない、そのような生活サイクルで、学校に行く前に朝ご飯を食べない子がやはり多い。「どうして食べないの」ときくと、「お腹いっぱいだから」と。「なぜいっぱいなの」ときくと、夜、お菓子を食べたとか、そのような生活習慣の違いがあるようです。

中学生になると、残食が少なくなったり、考えていろいろなものを食べるので、「ありがたい」というような気持ちも出てきますが、小学生は、まだ好き嫌いも多いし、食べたくなければ食べなくてもいいという家庭もあるかもしれませんが、先ほど、家庭科のお話があったように、例えば、キャベツと卵で何ができるかな、などというようなことを考えたり、家庭科の授業で自分が作ったものを美味しく食べるなど、やはり食育が大事なのかなと思います。ですので、お母さんたちにも、朝ご飯を食べていない子供たちがこんなにいますよ、と伝えることが必要なのかなと思います。自分も食べないから、子供も食べないとか、反省すべき点もあると思いますので、学校が行っていることをたくさん伝えてもらえばよいと思います。

あと一つだけ、ある中学生が、今年、納豆が初めて給食に出ると言っていたのですが、その日はすごく寒い日で、納豆が凍ったままだったそうです。季節を考えて献立に加えていただければと思いました。

給食担当課長 冷凍庫から出すタイミングが遅かったため、その日が寒かったこともあり、解けていなかったと聞いています。今後は、気温を踏まえて、出すタイミングを決めるようにします。

教育長 他にありませんか。

無いようでしたら、ご理解いただいたものと考えてよろしいですか。

(了解する旨の声あり)

(審議事項)

議案第17号 大牟田市立学校管理規則の一部改正について【学校教育課】

教育長 大牟田市立学校管理規則の一部改正について説明をお願いします。

学校教育課長 大牟田市立学校管理規則の一部改正について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 教職員の働き方改革の推進の観点から、市立小学校及び市立中学校の学期及び

夏季休業日に関する規定の整備を図るとともに、宅峰中学校ほしぞら分校に係る事務を共同処理することができるよう、共同学校事務室に関する規定の整備を図るため、標記規則の一部改正を行うもの。

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。
委員 (第2条及び第3条の改正は、)夏休みが1日長くなるということですか。

学校教育課長 はい、そうです。
委員 夏休み中の出校日は2日ですか。
学校教育課長 いいえ、1日です。
委員 分かりました。
教育長 他にありませんか。
無いようでしたら、原案のとおり承認してよろしいですか。
(承認する旨の声あり)
それでは承認します。

議案第18号 大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について【学校教育課】

教育長 大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について説明をお願いします。
学校教育課長 大牟田市立小中学校等の通学区域を定める規則の一部改正について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 宅峰中学校ほしぞら分校の通学区域を定めるに当たり、所要の規定の整備を図るため、標記規則の一部改正を行うもの。

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。
無いようでしたら、原案のとおり承認してよろしいですか。
(承認する旨の声あり)
それでは承認します。

議案第19号 大牟田市社会教育振興プラン2024～2028の策定について【生涯学習課】

教育長 大牟田市社会教育振興プラン2024～2028の策定について説明をお願いします。
生涯学習課長 大牟田市社会教育振興プラン2024～2028の策定について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 令和6年度からの本市のまちづくりの指針となる第7次総合計画との整合を図り、令和6年度から10年度までを計画期間とする大牟田市社会教育振興プラン2024～2028を策定するもの。

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。

委員 14ページの「子ども交流体験事業」の指標名の「事業に参加した児童・生徒が引き続き活動したと思った割合」とは、どのような意味でしょうか。

生涯学習課長 申し訳ございません。ご質問の箇所に誤記がございます。正しくは、「事業に参加した児童・生徒が引き続き活動したいと思った割合」でございます。おわびして訂正させていただきます。

委員 14ページの「文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業」と15ページの「多様性を尊重した文化芸術交流事業」は、事業名の後に「(再掲)」との表記がありますが、それらの掲載箇所の前には、どちらも、同名事業の掲載がありませんが、いかがでしょうか。

生涯学習課長 申し訳ございません。いずれも、「(再掲)」の表記は不要でございましたので、削除をお願いいたします。

教育長 他にありませんか。

無いようでしたら、ご指摘の箇所を修正した上で、原案のとおり承認してよろしいですか。

(承認する旨の声あり)

それでは承認します。

**議案第20号 大牟田市学校教育振興プラン2024～2028の策定について【教育
みらい創造室】**

教育長 大牟田市学校教育振興プラン2024～2028の策定について説明をお願いします。

教育みらい創造室長 大牟田市学校教育振興プラン2024～2028の策定について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 令和6年度からの本市のまちづくりの指針となる第7次総合計画「まちづくり総合プラン」との整合を図り、令和6年度から10年度までを計画期間とする大牟田市学校教育振興プラン2024～2028(以下「学校教育振興プラン」という。)を策定するもの。
- ・ 2月定例会での協議後の経過(2月20日開催の市民教育厚生委員会での質疑の内容について、及び同月21日開催の小学校校長会及び中学校・特別支援学

校校長会からは意見、質問等は示されなかったこと。)

教育長
委員

何かご質問・ご意見等はありませんか。

12ページの主要施策「誰一人取り残さない学びの保障」の「指標名」と「指標の概要」の記載内容について、この後の審議事項の学校教育振興事業計画案の4ページにある、同じ主要施策の「指標名」と「指標の概要」の記載内容と相違していますが、どちらが正しいのでしょうか。

教育みらい創造室長 申し訳ございません。学校教育振興事業計画案の記載内容の方が正しいため、学校教育振興プランの記載内容の方を訂正いたします。

教育長

他にありませんか。

無いようでしたら、ご指摘の箇所を修正した上で、原案のとおり承認してよろしいですか。

(承認する旨の声あり)

それでは承認します。

議案第21号 令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について【教育みらい創造室】

教育長

令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画の策定について説明をお願いします。

教育みらい創造室長 令和6年度大牟田市学校教育振興事業計画（案）について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明及び報告)

- ・ 大牟田市学校教育振興プラン2024～2028に基づく令和6年度の事業計画として、予算等との整合を図り策定するもの。
- ・ 2月定例会での協議後の修正点

教育長

何かご質問・ご意見等はありませんか。

無いようでしたら、原案のとおり承認してよろしいですか。

(承認する旨の声あり)

それでは承認します。

議案第22号 大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について【学務課】

《大牟田市教育委員会会議規則第3条ただし書きの規定により非公開》

教育長

大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について説明をお願いします。

学務課長 大牟田市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱 (延人数 215 人・実人数 161 人。任期は令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで)。

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。
無いようでしたら、原案のとおり承認してよろしいですか。
(承認する旨の声あり)
それでは承認します。

議案第 23 号 令和 6 年度市職員の人事について【総務課】

《大牟田市教育委員会会議規則第 3 条の規定により非公開》

教育長 令和 6 年度市職員の人事について説明をお願いします。
事務局次長 令和 6 年度市職員の人事について説明します。

(資料に基づき、以下の内容について説明)

- ・ 令和 6 年 4 月 1 日付け発令の教育委員会事務局職員 (主査級以上) の人事

教育長 何かご質問・ご意見等はありませんか。
無いようでしたら、原案のとおり承認してよろしいですか。
(承認する旨の声あり)
それでは承認します。

教育長 その他にご質問、ご意見等はありませんか。
無いようでしたら、以上で 3 月定例会を終わります。

閉会 17 時 25 分